

**認定こども園 徳力団地幼稚園の園児による
「モザンビークのいのちをつなぐ会」への寄付金贈呈式を行います**

徳力団地幼稚園では、園児と地域住民の交流の場となる「しあわせマルシェ」を開催し、そこの収益金を「モザンビークのスラム街で生活している子どもたちに少しでも力になりたい！」という子どもたちの思いから、義援金として「モザンビークのいのちをつなぐ会」を通じて寄付することとなりました。

つきましては、下記のとおり贈呈式を行いますので、ご取材方等よろしくお願いします。

記

【「モザンビークのいのちをつなぐ会」への義援金贈呈式】

- 1 開催日時 令和 7 年12月4日(木) 10:30～
- 2 会 場 認定こども園 徳力団地幼稚園 2階 遊戯室
- 3 参 加 者 (贈呈者) 徳力団地幼稚園 年長組 60名
(受領者) モザンビークのいのちをつなぐ会 代表 榎本 恵
ディレクター Nadja(ナジャ)
- 4 次 第
(1)開会
(2)趣旨説明
(3)義援金贈呈
(4)お礼の言葉(榎本代表)
(5)記念撮影

【〇〇〇しあわせマルシェ〇〇〇】 ※こちらもぜひ、ご取材ください!!

- 1 実 施 日:令和 7 年 11 月 29 日(土) 10:00～13:30
- 2 会 場:認定こども園 徳力団地幼稚園(小倉南区徳力団地1-2)
- 3 問い合わせ:認定こども園 徳力団地幼稚園 担当:北沢 TEL 093-962-2465
- 4 備 考:園の関係者や園児の保護者だけでなく、地域に住む人々が誰でも参加できるマルシェとして、給食カレーの販売やゲームコーナー、園児たちのコンサートなどが行われます。
今回の寄付に賛同いただいた方には、園児の手作りプレゼント(バスボムやスライムなど)をお渡しする予定です。

マルシェ当日の取材や、行事詳細等 につきましては、上記の幼稚園問い合わせ先までお尋ねください。

HP:学校法人黒木学園 認定こども園 徳力団地幼稚園

<http://tokurikidanchi-youchien.com/album/article/4324>

HP:一般社団法人 モザンビークのいのちをつなぐ会

<https://tsunagukai.com/>

【問い合わせ】

小倉南区役所総務企画課 担当:安永(課長)、山口(係長) 電話:093-280-7839

北九州市での講義公演を目指して

一般社団法人モザンビークのいのちをつなぐ (PVM)



アートと文化で育む 共生と平和の国際理解教育

「モザンビークのいのちをつなぐ会」は2015年より、日本全国500か所以上の学校・市民センターで講義公演を重ねてきました。一方、モザンビーク北部ペンバ市では、紛争と極度の貧困に直面する子ども350人を支える「寺子屋」を運営し、教育と人道支援を継続しています。

本提案では、この現地活動を基盤に、アフリカの国民的ミュージシャンを迎え、音楽・映像・対話を通じて「国際理解」「平和教育」「多文化共生教育」「キャリア教育」に資する体験型プログラムを北九州市の小・中・特別支援学校に届けます。

遠いアフリカの現実と子どもたちの未来を、自分たちの学びと結びつける特別な機会を創出します。

**特長1：国際的に活躍する
人気ミュージシャンが登壇**

紛争体験を持つモザンビークの
国民的アーティスト・ナジャ氏が
来日し、音楽と体験談を通して
子どもたちに直接語りかけます。

**特長2：国際的アフリカの
寺子屋の子ども共創**

モザンビークのスラムの寺子屋
の子どもたちと、日本の子ども
たちがアートや音楽でつながり
双方向の国際交流。

**特長3：紛争地から“生
の声”で平和を伝える**

教科書や映像では学べない
「アフリカのリアル」を直接
伝え、平和の意義を子ども
たち自身が考えるきっかけに。

**特長4：芸術と対話を融合
させた体験型学習**

音楽・ダンス・絵画・ワーク
ショップを組み合わせ、
誰もが主体的に参加できる
インクルーシブな学びを実現。

学校教育において「モザンビークのいのちをつなぐ会」が提供できる具体的なプログラム例

小学校（低学年）	小学校（高学年）	中学校	特別支援学校・学級
Peace Grooveリズム体験 （平和・多文化共生） モザンビークのリズムに合わせて ダンスと歌を体験。音楽を通じて 「違う文化って楽しい」と感じる。	ナジャの音楽と物語WS （国際理解・平和） 紛争体験とスラムの暮らしを伝える トーク&演奏。子どもたちが簡単な 打楽器でセッションに参加し、「平 和を守る自分の役割」を考える。	Peace Grooveライブ&対話 （平和・多文化共生） ナジャとの音楽パフォーマンスと トークの後、生徒同士で「平和を守 るために自分ができること」を 話し合う。	触って・聴いて学ぶアフリカ 音楽体験 （感覚体験型・多文化共生） 太鼓や楽器に触れる、一緒に歌う、 リズムを体で感じる、ナジャの生演 奏を「振動」や「音色」で楽しむ。
Nico Ichiアート体験 （国際理解・共生） 日本とモザンビークの子どもが同じ テーマで絵を描き、作品を交換・合 体。国境を越え友情を育む。	Nico Ichiアート体験 深堀り編（国際理解・共生） 「未来の学校」「平和なまち」など テーマを設定し、日本とモザンビ ークの子どもが描いた絵をつなげて 大きな作品を完成。	開発と紛争のリアル 映像+トーク（国際理解・公民連携） 資源開発や紛争の背景を映像と一次 体験談で学ぶ。「遠い世界」ではな く「自分たちの生活とつながる」 ことを理解する。	共作アートワークショップ （国際理解・表現） 絵・粘土・陶芸など、多様な表現を 用いて「地球の友だち」をテーマに 作品制作。※作陶アトリエ空とも連携可能。
One Word for Peace やさしいことば編（平和） 「やさしい」「うれしい」など、平 和を感じる言葉を1つ出す。絵や シールで可視化して教室展示。	国際キャリア教育 世界と自分の未来編（キャリア） 「好きなことを仕事にする」「世界 とつながる」将来像を考える。	国際協力キャリアガイダンス （キャリア） 生徒が「世界を舞台に働く」多様な キャリアモデルを知る機会に。	One Word for Peace しるし編（平和・自己表現） 言葉が難しい子どもも、シール・ マーク・音などで「自分にとって平 和なこと」を表現し、展示。

～ その他に提供できるプログラム ～

芸術体験教育

民族ごとのリズムや言語（ナジャは
7言語話す）で質の高い音楽・美術
体験を通じて感性を育む。

ESD（持続可能な開発のための教育）

環境・貧困・紛争などSDGsの文脈で
学びを深める。

共生社会教育

「困っている人がいると子どもでも
助ける」「一人で食事しない。みんな
で分ける」インクルーシブなトーク。

シティズンシップ教育

北九州での里山整備活動の紹介や
輸出入製品の話で、世界と地域のつながり
を理解し、社会参画意識を育てる。



代表榎本とナジャの紹介

代表理事・モザンビーク事務局長
榎本 恵 Megumi Enomoto

- ◆ 福岡県北九州市小倉生まれ。小倉高校卒業（43期生）
- ◆ 大学卒業後、広告代理店でプランナー&コピーライターとして勤務。
- ◆ 2000年、起業・事業拡大支援を行う Planning MAY を開業。
主に環境・農業・通販・教育系企業のビジネスサポートを手がける。
- ◆ 2012年、日系企業のモザンビーク進出をきっかけに、
初めてアフリカの地を踏む。半年間、新規事業開発業務を行う。
- ◆ これまで後進国の開発地区で目の当たりにした、「取り残された貧困層の
人々の問題」、「先進国の開発論理と後進国貧困層のニーズのジレンマ」を
解消すべく、2013年4月『NGOモザンビークのいのちをつなぐ会』を設立。
2018年12月、一般社団法人化。

第1回 風に立つライオンオブ・ザ・イヤー受賞

財団設立者のさだまさしさんの楽曲で、
困難があっても強く、人の命を助けたい、
という生き方を意味する

「風に立つライオン」。
そのモデルとなった医師・柴田紘一
郎氏を冠し、海外で活動する個人・
団体を表彰する「柴田紘一郎賞」を
受賞。第1回の表彰です。
公益財団法人風に立つライオン基金
2023年11月受賞



『Let's GO 北九州』

北九州親善ソングミュージックビデオ



ミュージシャン・寺子屋ディレクター・
モザンビーク青年共同組合代表
Nadja（ナジャ）

- ◆ 1987年、カーボデルガド州ムエダ村生まれ。マコンデ族。4歳の時に内戦の
戦火を逃れ、ムエダからペンバへ移住。東アフリカで名を馳せたミュージ
シャンの叔父・ナングンドと同居し18歳の時に自分のバンドを結成。
- ◆ 叔父に倣い、音楽を通じた社会貢献活動を続ける。アフリカ圏内の大統領
などの要人の会合やチャリティーGALAでの演奏機会が増え、
国民的ミュージシャンに。
- ◆ 2013年モザンビークのいのちをつなぐ会設立時から活動に協力。
- ◆ 2015年から日本や欧州でも公演を行う。
- ◆ 2019年ペンバ青年共同組合設立。



NHK BS『平和を願い歌う・ナジャ』



日本語版
ダイジェスト
動画



朝日放送2016年『世界の村で発見！
こんなところに日本人』

